

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果に関する報告書
【平成26年度分】

平成27年11月
魚沼市教育委員会

目 次

◆ 点検及び評価制度の概要について	2
◆ 教育に関する事務の管理及び執行の状況について	
学校教育課分	4
生涯学習課分	12
子ども課分	20

点検及び評価制度の概要について

1 制度について

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」のひとつとして、同法第26条の規定に基づき、平成21年度から教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

【根拠法令】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(平成20年4月施行)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 目的について

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会である。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、様々な属性を持った複数の委員による合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

事務の点検・評価は、上記地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が教育長以下事務局を含め、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、重点化等を図るべき分野を明確化するなど、市民が求める質の高い教育環境を提供することに資するとともに、住民に対する行政の説明責任(アカウンタビリティ)を果たすための体制を充実させ、教育行政に対する市民の信頼性の向上を図ることを目的としています。

3 対象事業の考え方

本年の点検・評価は、平成26年度における教育委員会の権限に属する事務のうち実際に教育委員会が管理・執行している主要な事務事業を対象としました。

対象としている事業について担当部局(学校教育課、生涯学習課、子ども課)ごとに、その成果や効果、また課題や問題点を点検・評価し、事務の管理及び執行の状況についての自己評価を実施しました。

4 学識経験者の知見の活用

点検・評価を実施するにあたり、地教行法第26条第2項の規定による知見の活用を図るため、「教育に関する事務の点検及び評価実施要綱」を定め、選任した学識経験者2名から、教育委員会事務局が行った点検・評価シートごとの結果(自己評価)について、外部評価を受けるという形で実施しました。

魚沼市教育委員会 事務点検評価者(平成27年)

氏 名	経 歴 等
中 戸 義 文 氏	新潟県立小出高等学校長
武 田 ミイ子 氏	魚沼市社会教育委員

【点検評価の主な補足説明資料等】

- ・平成 26 年度魚沼市の学校教育
- ・魚沼市生涯学習推進計画
- ・魚沼市次世代育成支援行動計画

平成 26 年度 実施事業等	教育委員会運営事業 ◎教育委員会の会議の開催状況等について ◎教育委員の市内小中学校・幼稚園及び保育園等訪問について			
	事業予算	2,410 千円	決算額	2,269 千円
重点目標	<p>①開かれた教育行政の実現に努める。</p> <p>②教育委員会、事務局、学校その他教育機関の連携を密にし、情報・意見交換を積極的に行う。</p> <p>③関係団体等の会議及び研修会へ出席し、懸案課題への見識を高め、発言力の助長を促す。</p>			
取組の状況 と 結果・成果	<p>教育委員会の会議については、毎月1回の「教育委員会定例会」及び必要に応じて「臨時会」「協議会」を開催し、平成 26 年度は合計15回開催しました。</p> <p>また、教育における諸問題や懸案事項について、問題解決に向けた意見交換を行えるよう努めました。</p> <p>なお、市内小中学校(15校)及び幼稚園保育園(11ヵ所)他を訪問し、現場の様子を視察するとともに各学校等の問題や課題の報告を意見交換しました。</p> <p>(1) 教育委員会の会議の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会…………… 12回(議案53件、臨時代理7件) ・教育委員会臨時会…………… 2回(議案5件) ・教育委員会協議会…………… 1回(協議1件) <p>(2) 学校、幼稚園訪問等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとに訪問…… 6回(小学校9校、中学校6校、幼稚園2ヵ所、小出特別支援学校) <p>(3) 保育園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の訪問…… 1回(保育園8ヵ所) <p>(4) 各種会議・研修会の出席状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 魚沼市教育振興会総会(小出郷文化会館) ・ 5月 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会(小千谷市) ・ 7月 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会(長野市) ・12月 教育懇談会(堀之内公民館) 			
課 題 及び 改善点	平成27年度に実施される教育委員会制度改革に向け、市民に分かりやすい教育行政の推進を図る。また、市長部局と連携し、即応性のある運営を進める。			
【外部評価】	<p>・開かれた教育行政の実現を目指し学校等の訪問に取り組んでいる点を評価します。なお、現場の様子や課題・問題等については、市民に分かり易い方法でさらに情報公開に努めるようお願いします。</p> <p>・教育委員会活動や取り組みを、保護者や市民に認知していただく必要があります。また、PTA 等との連携した活動なども継続していく必要があります。</p>			

平成 26 年度 実施事業等	情報教育推進事業 ◎学校ICT機器整備について																									
	事業予算	10,362千円	決算額	9,931千円																						
重点目標	教職員及び児童生徒が ICT 機器を使用し円滑に校務や授業を実践できるように機器整備を行う。																									
取組の状況 と 結果・成果	<p>専門業者と保守委託契約し、PC の不具合・修理が必要な場合、早期に対応できるようにしました。</p> <p>児童生徒が使用するパソコンには、有害なサイトへアクセスできないようフィルタリングソフトを導入しています。</p> <p>全てのパソコンに対してウイルス対策ソフトを導入しており、ウイルス感染を防止しています。</p> <p>また、教師が児童生徒端末を操作管理できる授業支援ソフトを導入しております。</p> <p>○パソコンの活用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">パソコン台数</th> <th rowspan="2">学 校 公 式 ホ ー ム ペ ー ジ 開 設 校</th> <th rowspan="2">パソコンを活用した年間授業数</th> </tr> <tr> <th>授業用</th> <th>教職員用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校(9校)</td> <td>304台</td> <td>211台</td> <td>9校</td> <td>1,568回</td> </tr> <tr> <td>中学校(6校)</td> <td>227台</td> <td>144台</td> <td>6校</td> <td>1,465回</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>531台</td> <td>355台</td> <td>15校</td> <td>3,033回</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	パソコン台数		学 校 公 式 ホ ー ム ペ ー ジ 開 設 校	パソコンを活用した年間授業数	授業用	教職員用	小学校(9校)	304台	211台	9校	1,568回	中学校(6校)	227台	144台	6校	1,465回	合 計	531台	355台	15校	3,033回
区 分	パソコン台数		学 校 公 式 ホ ー ム ペ ー ジ 開 設 校	パソコンを活用した年間授業数																						
	授業用	教職員用																								
小学校(9校)	304台	211台	9校	1,568回																						
中学校(6校)	227台	144台	6校	1,465回																						
合 計	531台	355台	15校	3,033回																						
課 題 及び 改善点	<p>学校における情報漏洩及びウイルス感染等が発生しないよう記録媒体の取扱いやインターネットの利用について、管理等を徹底する必要があります。</p> <p>また、インターネットにおけるネット犯罪や事件などに巻き込まれないよう、児童・生徒に対する情報教育を継続実施し、良識のある利用法を指導していく必要があります。</p> <p>平成21年度 ICT 環境整備事業で導入したパソコン等周辺機器が導入から5年を経過し、故障、動作遅延等不具合が生じています。今後は、国の施策や周辺自治体の整備状況を踏まえ、学校現場の声を反映した情報教育機器の整備を図る必要があります。</p>																									
【外部評価】	<p>・機器整備事業と併せて、家庭での利用状況を踏まえた児童・生徒に対する情報教育の充実を図っていくようお願いします。</p> <p>・ICT機器の整備とともに、管理や運用に関する研修等への参加を継続的に実施し、理解を深める必要があります。</p>																									

平成 26 年度 実施事業等	適応指導教室事業 ◎適応指導教室(フラワールーム)及び別室登校支援の活動等について			
	事業予算	16,500 千円	決算額	15,791 千円
重点目標	○ 適応指導教室を設置し、学校に適應できない不登校の児童生徒に対し、集団生活への適應、学習、体験活動の取組等への支援を行い、学校への復帰を図る。 ○ 別室登校支援員を学校に派遣し、登校はできるものの教室に入れず、校内の「別室」を活用している児童生徒の学習や生活を支援し、教室への復帰を図る。			
取組の状況 と 結果・成果	(1) 適応指導教室(フラワールーム) 本年度入室生は6人(小2人、中4人)。指導員2人を配置した。 ① 不登校児童生徒への支援 「安心感のある居場所づくり」「学習支援」「体験活動」等を実施した。 ② 保護者支援 保護者の電話による相談や面談の実施、親の会『心の談話室』開催(年7回)、「フラワー通信」の発行(月1回)等 ③ 学校への支援・情報交換 学校訪問の年4回実施、関係機関の照会等 成果として、通室を通して自己肯定感と適應力の向上を図ることができた、通室の登校日数が増えた、進路指導の充実により中学3年生全員の高校進学を果たしたなどがあげられる。親の会『心の談話室』を計7回開催し、保護者参加により児童生徒の心の安定につなげることができた。 (2) 別室登校支援 教員免許状所有者である別室登校支援員3人を配置し、学校と連携しながら、安心して過ごせる別室環境づくり、学習支援、行事への参加、校内委員会への参加等の支援を実施した。本年度は、別室登校児童生徒は9校(小4校、中5校)、37人(小14人、中23人)であった。 また、別室運営が充実し、児童生徒が安心して登校できた。教室の授業や活動に参加できるようになった児童生徒もいた。			
課題 及び 改善点	(1) 市内に全欠もしくは、ほぼ全欠児童生徒がいる。特に、教育相談や学習支援機能の充実のため、教員免許状所有者等、力量ある指導員の配置及び教室運営・環境等の工夫を図る必要がある。 (2) 各校における支援員の配置継続及び機能の充実が求められている。適応指導教室の運営に支障がないことを条件に、適応指導教室指導員に、別室登校支援業務をある程度兼務させることも考えていく。			
【外部評価】	・事業全般について、悩みを抱えた児童・生徒への支援活動として評価できます。親の会『心の談話室』開催などの保護者支援は、児童・生徒の復帰に向けた有効な取り組みだと思えます。 ・子どもそれぞれに適した支援が必要であり、成果を伴うには個人差があり時間も要することとなるため、慎重に子どもの将来を考えながら支援の充実をお願いします。			

平成 26 年度 実施事業等	通学対策事業 ◎スクールバスの運行等について		
	事業予算	63,200 千円	決算額 60,543 千円
重点目標	学校から遠距離に居住する児童生徒に対し、スクールバス及び路線バス等の利用による通学支援を行う。		
取組の状況 と 結果・成果	<p>学校から各集落センターまでの距離が小学校の場合夏場は2.5km、冬場は2km、中学校の場合夏場は3km、冬場は3.5kmを越える地区に路線バスの定期券支給、スクールバスによる通学を認める市の基準に基づき、事業を実施しました。</p> <p>【利用実績】 ◎定期券支給 広神西小 8 人(滝之又方面)、入広瀬小 2 人(大白川方面)、湯之谷中 24 人(旧東湯之谷小学校区、冬季の笹沢地区)、堀之内中 5 人(下倉地区)、広神中 75 人(滝之又・小平尾、冬季の金ヶ沢方面)、入広瀬中 5 人(大白川地区)</p> <p>◎スクールバス利用 入広瀬地区 2 校 10 人 市有バス 1 台 守門地区 2 校 66 人 市有バス 2 台、民間借上げ 1 台 広神地区 3 校 230 人 市有バス 3 台 湯之谷地区 1 校 72 人 市有バス 1 台、民間借上げ 1 台 小出地区 3 校 91 人 市有バス 1 台、民間借上げ 1 台 堀之内地区 3 校 120 人 市有バス 3 台、民間借上げ 2 台</p>		
課題 及び 改善点	<p>不審者事案や通学路の安全確保、地域の児童数減少による登校班員数の減などのため、スクールバス通学の要望が増えており、スクールガードボランティア活動や通学路整備による総合的な通学安全対策がますます重要となっています。</p> <p>市有バスの老朽化による計画的な更新や、対象児童生徒の減少によるスクールバスの運行路線の見直しや乗車人数に見合ったバスの配車、路線バスの有効活用等、より効率的な運行を目指していく必要があります。</p>		
【外部評価】	<p>・公平で行き届いた対応は評価できます。</p> <p>・乗車人数が減少する中で、運行経費や地域・保護者からの要望と対応など様々な課題があると思いますが、通年の通学路安全確保のため支援を継続されるようお願いいたします。(特に、放課後活動終了後と冬期間の登下校の安全対策に留意をお願いします。)</p>		

平成 26 年度 実施事業等	学級づくり支援事業			
	事業予算	4,300 千円	決算額	4,267 千円
重点目標	<p>親和的な学級集団は、「学力向上」「いじめ・不登校の減少」「特別支援教育をめぐる問題の減少」にプラスの影響を与えることが実証的に明らかになっています。この知見を踏まえ、温かい学級を基盤とした学力向上と不登校出現率の低下の取り組みを推進します。この取り組みを通じて、校長のリーダーシップのもと、教職員の同僚・協働性と自主・向上性の高い学校組織の構築を目指します。</p>			
取組の状況 と 結果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校ごとに、hyper-QU 調査を着実に実施し、その結果を学級づくりや授業づくり、個別の教育相談などに活かしてきました。小学校では1回目より2回目で学級の状態と個々の学校生活意欲が上昇しており、教員の学級経営の取り組みが成果として現れています。中学校でも同じ傾向が見られますが、学習意欲や進路意識が低下しているなどの課題も明らかになりました。 ○ 実証心理研究所と契約し、hyper-QU 調査を基軸とした諸調査によって、魚沼市内の小中学校の学級の状態や学力等について課題を抽出することができました。教員は、これらの結果からの確な対応策をチームで講じる取り組みを始めています。学校の教職員の協働性と同僚性が高まることは、本事業の本質であります。 ○ 全員研修、校長・事業担当者研修、若手研修、リーダー養成研修等の研修を計画的に実施し、学級づくりについて教職員の理解を深めることができました。これらの成果として、2年次の指針となる「温かい学級づくり自校プラン」を各学校で作成することができました。 ○ 不登校の減少については大きな変化を見られませんでした。全児童生徒の無欠席者出現率が向上しています。中学校で事業実施前の平成25年度は 42.2%であったのに対して、平成26年度は 48.8%と約半数近くの生徒が無欠席でした。このことは、学級に居場所をつくり居心地をよくしようとする本事業の成果であると考えられます。 			
課 題 及び 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級づくりについては、学校差や学校内における学級差が認められたことから、次年度は、学級づくりのスタンダードとして作成した「温かい学級づくり自校プラン」を着実に実践していきます。 ○ 学習面では、小学校後半から学力中位、上位の子どもが伸び悩み、中学で拡大し定着していくことが課題として指摘されました。この課題については、学習動機からの分析を進め、対策を講じます。 ○ 不登校については、全児童生徒の無欠席率が伸びた成果を踏まえつつ、「新たな不登校を生まない」ことに重点を置いて取り組みます。 			
【外部評価】	<p>・hyper-QU 調査を軸とした事業は、有効かつ特色ある取り組みとして大いに評価できます。教育委員会がリーダーシップをとりながら、この事業の継続発展を期待します。</p>			

平成 26 年度 実施事業等	就学援助関連事業 ◎要保護・準要保護児童生徒就学援助等について							
	事業予算	37,390 千円			決算額	25,199 千円		
重点目標	経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給し、児童生徒が平等に義務教育を受けられるよう支援します。							
取組の状況 と 結果・成果	平成 26 年度助成実績のとおり、市報、幼稚園・保育園、小・中学校、民生委員等を通じて制度の周知を図り、経済的支援を必要とする世帯へ助成を行いました。							
	【平成 26 年度助成実績】 (単位:千円)							
	区分	人数(※)	給食費	学用品費	修学旅行費	体育実技用具費	医療費	合計
	小学校 (9 校)	171 人	7,846	2,449	529	1,483	52	12,359
	中学校 (6 校)	119 人	5,927	3,278	2,349	1,270	16	12,840
合計	290 人	13,773	5,727	2,878	2,753	68	25,199	
※ 制度の周知については、市内小中学校及び保育園・幼稚園を通じてまんべんなく行っていることから、個人を特定した通知はしておりませんので、事前の相談や申請する場合には、学校や保育園等に申し出ていただくか、市役所窓口にお出でいただいております。								
課題 及び 改善点	平成 26 年 8 月に「子どもの貧困対策に関する大綱」が定められ、国をあげて経済的に困窮する児童生徒への支援策が推進されます。国県、近隣自治体の動向に注視しながら、本制度を含めた支援策を見直し、検討する必要があります。 また、引き続き本制度の公正性・公平性が保たれるよう、きめ細やかに制度の周知、認定及び支援に努めます。							
【外部評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・申請や認定漏れがないようあらゆる手段と方法で引き続き制度の周知を図り、公正性と公平性が保たれるよう適確な取り組みをお願いします。 ・援助に起因するいじめ等の発生が懸念されることから、個人情報の取り扱いに注意する必要があります。 							

平成 26 年度 実施事業等	奨学金貸与事業																																						
	事業予算	※基金による運用	決 算 額	※基金による運用																																			
重点目標	学業意欲が高いにも関わらず、経済的理由により就学が困難な学生に奨学金を貸与し、教育の機会均等を図ります。																																						
取組の状況 と 結果・成果	① 貸与状況																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">学校種別</th> <th colspan="2">貸与人数</th> <th rowspan="2">年間貸与金額</th> </tr> <tr> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大学生 (短大含む)</td> <td>国公立</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td rowspan="2">45,500千円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>7人</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専修学校生</td> <td>国公立</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">13,200千円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>15人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高校生</td> <td>国公立</td> <td>4人</td> <td>—</td> <td rowspan="2">960千円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>30人</td> <td>73人</td> <td>59,660千円</td> </tr> </tbody> </table>				学校種別		貸与人数		年間貸与金額	県内	県外	大学生 (短大含む)	国公立	4人	5人	45,500千円	私立	7人	61人	専修学校生	国公立	—	—	13,200千円	私立	15人	7人	高校生	国公立	4人	—	960千円	私立	—	—	合 計		30人	73人
学校種別		貸与人数		年間貸与金額																																			
		県内	県外																																				
大学生 (短大含む)	国公立	4人	5人	45,500千円																																			
	私立	7人	61人																																				
専修学校生	国公立	—	—	13,200千円																																			
	私立	15人	7人																																				
高校生	国公立	4人	—	960千円																																			
	私立	—	—																																				
合 計		30人	73人	59,660千円																																			
② 奨学基金運用状況																																							
奨学基金額 612,000千円 (単位:千円)																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>25年度末</th> <th>増</th> <th>減</th> <th>26年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">現 金</td> <td rowspan="3">59,970</td> <td>返 還</td> <td>貸 与</td> <td rowspan="3">79,461</td> </tr> <tr> <td>76,751</td> <td>59,660</td> </tr> <tr> <td>基金積み増し</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2,400</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貸付金</td> <td rowspan="3">552,030</td> <td>貸 与</td> <td>返 還</td> <td rowspan="3">532,539</td> </tr> <tr> <td>59,660</td> <td>76,751</td> </tr> <tr> <td></td> <td>返還免除</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基金合計</td> <td>612,000</td> <td>138,811</td> <td>138,811</td> <td>612,000</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	25年度末	増	減	26年度末	現 金	59,970	返 還	貸 与	79,461	76,751	59,660	基金積み増し		2,400				貸付金	552,030	貸 与	返 還	532,539	59,660	76,751		返還免除			2,400		基金合計	612,000	138,811	138,811	612,000
区 分	25年度末	増	減	26年度末																																			
現 金	59,970	返 還	貸 与	79,461																																			
		76,751	59,660																																				
		基金積み増し																																					
2,400																																							
貸付金	552,030	貸 与	返 還	532,539																																			
		59,660	76,751																																				
			返還免除																																				
		2,400																																					
基金合計	612,000	138,811	138,811	612,000																																			
平成 26 年度は、新たに大学生 16 人、専修学校生 12 人、高校生 1 人の計 29 人を奨学生に採用し、17,040 千円を貸与しました。また、平成 25 年度から継続の奨学生 74 人に 42,620 千円を貸与し経済的な就学困難者を支援しました。																																							
課 題 及び 改善点	<p>奨学金返還金の滞納者に対しては、文書や電話により早期の納付を促すほか、誓約書の提出により分割納付をしていただくなど、個々の状況に応じた方法で未納残高縮減に努めていきます。</p> <p>※ 未納返還金残高 6,532 千円(平成 26 年度末現在)</p>																																						
【外部評価】	<p>・滞納者への取り組みは評価できます。今後も個別の状況に応じた督促と回収に一層努めていただくようお願いします。</p> <p>・返還金の未納については、借用人と保証人に対しての趣旨説明が足りないと思われます。例えば、貸与が確定した段階等で個別の説明が必要であると思います。</p>																																						

平成 26 年度 実施事業等	学校給食関連事業 ◎市内小中学校の学校給食実施状況について				
	事業予算	403,202 千円	決 算 額	386,651 千円	
重点目標	<p>児童生徒の心身の健全なる発達のために、バランスの取れた栄養豊かな給食を提供する。</p> <p>給食調理従事者の健康管理や調理場の衛生管理の徹底により、安心安全な給食を提供する。</p>				
取組の状況 と 結果・成果	【市内小中学校の学校給食実施状況】				
	学 校 名	給食費月額	基準回数	1食当たり単価	米飯給食実施状況
	堀之内小学校	4,700 円	199 回	260 円	4.0 回/週
	宇賀地小学校	4,600 円	195 回	260 円	4.0 回/週
	小出小学校	4,800 円	199 回	265 円	4.2 回/週
	伊米ヶ崎小学校	4,800 円	199 回	265 円	4.2 回/週
	井口小学校	4,900 円	200 回	270 円	4.0 回/週
	広神東小学校	4,700 円	196 回	260 円	4.0 回/週
	広神西小学校	4,800 円	201 回	270 円	4.0 回/週
	須原小学校	4,750 円	200 回	260 円	4.5 回/週
	入広瀬小学校	4,700 円	195 回	265 円	4.0 回/週
	堀之内中学校	5,600 円	199 回	310 円	4.0 回/週
	小出中学校	5,410 円	195 回	305 円	4.3 回/週
	湯之谷中学校	5,700 円	200 回	310 円	4.0 回/週
	広神中学校	6,000 円	197 回	300 円	4.0 回/週
守門中学校	5,580 円	198 回	310 円	4.5 回/週	
入広瀬中学校	6,200 円	193 回	320 円	4.0 回/週	
	<p>食材については鮮度や産地の吟味を重ね、地元産コシヒカリを使用し、すべての学校で週4回以上の米飯給食を実施しました。</p> <p>また、県が設置する検査機器で放射性物質事前検査を継続して実施し、安全性を確認しました。</p> <p>衛生管理や調理技術の向上を目的に、学校給食調理従事者を対象とした研修会を実施しました。</p> <p>本年度から「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」により食物アレルギー対応食の提供を開始しました。</p>				
課 題 及び 改善点	<p>「安心、安全な給食」、「食育指導」、「地元食材の利用」について一層の拡充を図るため、必要な事業を継続していかなければならない。</p> <p>市内の給食施設は学校建築時に建設されたもので老朽化が進んでおり、通学区域再編計画と整合性を図りながら、給食調理場再編計画の策定を進める必要がある。</p> <p>また、大型備品についても老朽化しているため計画的な更新が必要である。</p>				
【外部評価】	<p>・施設設備の老朽化による安全性確保が一番心配です。通学区域再編計画と併せ、給食調理場の再編整備も早期に推進する必要があると思います。</p> <p>・コシヒカリに限らず、さらなる地元食材の使用をお願いします。</p>				

平成 26 年度 実施事業等	地区公民館講座教室事業 ◎ 各公民館の講座教室事業の実施について																			
	事業予算	3,800 千円	決算額 3,611 千円																	
重点目標	地域住民の身近な学びの場として、各種講座・教室、講演会等を開催し、市民の教養の向上、生活文化の振興促進を目標に事業を展開する。																			
取組の状況 と 結果・成果	<p>各地区公民館において、魚沼の文化や歴史を生かしたふるさと講座や教養講座・郷土料理教室など、市民の生きがいつくりと、生活文化の向上に資する事業を次のとおり実施しました。</p> <p>① 各地区の公民館がお互いに連携することにより、相乗効果が生まれるような事業を展開しました。</p> <p>② 参加者に対してアンケートを行うことにより、事業に関するニーズや満足度を検証しました。</p> <p>③ 生涯学習活動を推進し、自主的に生涯学習活動を行うサークルの設立を支援した結果、新たに 4 つのサークルが誕生しました。</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館</th> <th>参加延人数</th> <th>主 な 事 業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堀之内</td> <td>472 人 (分館 1,731 人)</td> <td rowspan="8"> ・主な講座教室事業 ふるさと歴史講座、郷土料理教室、子ども向け教室(陶芸、書道、茶道、料理、工作)、スノーシュートレッキング教室、初心者向け教室(水墨画、書き付け、編み物など)、ヨガ教室、高齢者大学、健康体操教室、映写会ほか ・その他 公民館だより発行、地域スポーツ大会(自治会連携)、コミュニティまつり(コミ協連携)、かるた・囲碁・将棋等大会、各種講演会(地域医療魚沼学校等連携)、演奏会、ギャラリー展示ほか </td> </tr> <tr> <td>小出北部</td> <td>965 人</td> </tr> <tr> <td>伊米ヶ崎</td> <td>1,540 人</td> </tr> <tr> <td>湯之谷</td> <td>858 人</td> </tr> <tr> <td>広神</td> <td>932 人</td> </tr> <tr> <td>守門</td> <td>1,111 人</td> </tr> <tr> <td>入広瀬</td> <td>609 人</td> </tr> </tbody> </table>	公民館	参加延人数	主 な 事 業	堀之内	472 人 (分館 1,731 人)	・主な講座教室事業 ふるさと歴史講座、郷土料理教室、子ども向け教室(陶芸、書道、茶道、料理、工作)、スノーシュートレッキング教室、初心者向け教室(水墨画、書き付け、編み物など)、ヨガ教室、高齢者大学、健康体操教室、映写会ほか ・その他 公民館だより発行、地域スポーツ大会(自治会連携)、コミュニティまつり(コミ協連携)、かるた・囲碁・将棋等大会、各種講演会(地域医療魚沼学校等連携)、演奏会、ギャラリー展示ほか	小出北部	965 人	伊米ヶ崎	1,540 人	湯之谷	858 人	広神	932 人	守門	1,111 人	入広瀬	609 人	
公民館	参加延人数	主 な 事 業																		
堀之内	472 人 (分館 1,731 人)	・主な講座教室事業 ふるさと歴史講座、郷土料理教室、子ども向け教室(陶芸、書道、茶道、料理、工作)、スノーシュートレッキング教室、初心者向け教室(水墨画、書き付け、編み物など)、ヨガ教室、高齢者大学、健康体操教室、映写会ほか ・その他 公民館だより発行、地域スポーツ大会(自治会連携)、コミュニティまつり(コミ協連携)、かるた・囲碁・将棋等大会、各種講演会(地域医療魚沼学校等連携)、演奏会、ギャラリー展示ほか																		
小出北部	965 人																			
伊米ヶ崎	1,540 人																			
湯之谷	858 人																			
広神	932 人																			
守門	1,111 人																			
入広瀬	609 人																			
課題 及び 改善点	<p>各地区公民館に、様々な形で他機関や地域コミュニティとの連携事業を多数実施することができましたが、地域づくりの実践活動と連携するような仕組みを構築しているとはまだは言えません。</p> <p>今後は地域コミュニティとの連携がますます重要になってくると思われるので、地域の課題解決や取組み手法の啓発などの支援を通じて、地域の活性化に貢献する事業の展開を進めていきます。</p> <p>そのほか、自主サークルが長期的に活動できるように、会員の募集や活動内容の紹介など、公民館として支援して行く必要があります。</p>																			
【外部評価】	<p>・生涯学習活動を行うサークル設立の支援など、各地区で地域づくりを後押しされ、自主的な活動が出ている点を評価します。今後も公民館が相互に連携しながら市全体の活性化に貢献する取り組みをお願いします。</p>																			

平成 26 年度 実施事業等	図書館管理運営事業 ◎図書サービスの充実について																														
	事業予算	35,900 千円		決算額	34,701 千円																										
重点目標	各種読書推進事業の実施により、図書館の利用が促進されるように努めます。 図書館は生涯学習の拠点となる重要な施設であるため、一層の充実を図り、市民から親しまれる図書館づくりを目指します。																														
取組の状況 と 結果・成果	1. 貸出サービス ①年間利用人数																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">図書館</th> <th colspan="3">公民館図書室</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>小出郷</th> <th>広神</th> <th>堀之内</th> <th>守門</th> <th>入広瀬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>30,156</td> <td>12,975</td> <td>7,330</td> <td>2,506</td> <td>1,034</td> <td>54,001</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>31,808</td> <td>13,115</td> <td>7,404</td> <td>1,681</td> <td>1,375</td> <td>55,383</td> </tr> </tbody> </table>						年度	図書館		公民館図書室			計	小出郷	広神	堀之内	守門	入広瀬	26	30,156	12,975	7,330	2,506	1,034	54,001	25	31,808	13,115	7,404	1,681	1,375
年度	図書館		公民館図書室			計																									
	小出郷	広神	堀之内	守門	入広瀬																										
26	30,156	12,975	7,330	2,506	1,034	54,001																									
25	31,808	13,115	7,404	1,681	1,375	55,383																									
取組の状況 と 結果・成果	②年間貸出冊数																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">図書館</th> <th colspan="3">公民館図書室</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>小出郷</th> <th>広神</th> <th>堀之内</th> <th>守門</th> <th>入広瀬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>84,906</td> <td>39,926</td> <td>16,814</td> <td>6,412</td> <td>2,471</td> <td>150,529</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>91,008</td> <td>39,119</td> <td>16,856</td> <td>4,176</td> <td>3,486</td> <td>154,645</td> </tr> </tbody> </table>						年度	図書館		公民館図書室			計	小出郷	広神	堀之内	守門	入広瀬	26	84,906	39,926	16,814	6,412	2,471	150,529	25	91,008	39,119	16,856	4,176	3,486
年度	図書館		公民館図書室			計																									
	小出郷	広神	堀之内	守門	入広瀬																										
26	84,906	39,926	16,814	6,412	2,471	150,529																									
25	91,008	39,119	16,856	4,176	3,486	154,645																									
取組の状況 と 結果・成果	2. 児童サービスなどの各種行事や学校連携 ①図書館では、各地域で読み聞かせを行っています。取組状況と参加者（保護者含む）は下記のとおりです。																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>会場</th> <th>名称</th> <th>日時</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入広瀬こどもの家</td> <td>おはなし読んで!</td> <td>春、夏、秋の特定の金曜日 16:00~</td> <td>3回</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>守門開発センター</td> <td>おはなし読んで!</td> <td>春、夏、秋の特定の木曜日 15:30~</td> <td>3回</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>小出郷図書館</td> <td>おはなしがいっぱい! (小学生以下対象)</td> <td>毎月第2土曜日 11:00~</td> <td>11回</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>小出郷図書館</td> <td>だっこでおはなし(乳幼児対象)</td> <td>毎月第4金曜日 10:30~</td> <td>12回</td> <td>76人</td> </tr> </tbody> </table>						会場	名称	日時	回数	参加者数	入広瀬こどもの家	おはなし読んで!	春、夏、秋の特定の金曜日 16:00~	3回	56人	守門開発センター	おはなし読んで!	春、夏、秋の特定の木曜日 15:30~	3回	29人	小出郷図書館	おはなしがいっぱい! (小学生以下対象)	毎月第2土曜日 11:00~	11回	98人	小出郷図書館	だっこでおはなし(乳幼児対象)	毎月第4金曜日 10:30~	12回	76人
会場	名称	日時	回数	参加者数																											
入広瀬こどもの家	おはなし読んで!	春、夏、秋の特定の金曜日 16:00~	3回	56人																											
守門開発センター	おはなし読んで!	春、夏、秋の特定の木曜日 15:30~	3回	29人																											
小出郷図書館	おはなしがいっぱい! (小学生以下対象)	毎月第2土曜日 11:00~	11回	98人																											
小出郷図書館	だっこでおはなし(乳幼児対象)	毎月第4金曜日 10:30~	12回	76人																											
課題 及び 改善点	②スタンプラリー、雑誌リサイクル市、人形劇などの事業を実施し、本への親しみや読書の定着を推奨しました。中でも、絵本作家を招いて開催した絵本ライブは 214 人が参加し、大勢の親子が読み聞かせなどを楽しみました。																														
	③学校や保育園などから、313 人の図書館見学や職場体験を受け入れ、また学校や保育園へ出張し、述べ 625 人に読み聞かせを行いました。																														
課題 及び 改善点	各図書館は利用人数、貸出冊数ともに減少傾向にありますが、守門公民館図書室については移転した影響もあり利用者が増加しています。																														
	地域の情報センターとして市民から活用いただくため、今後は蔵書の質を高め、新たな行事などを実施し、サービスの向上と新規利用者の増加を図っていきます。																														
【外部評価】	・利用人数と貸出冊数だけでなく、各図書館や図書室の特徴を捉えたうえで利用者のニーズを把握し、特色あるサービスの提供が重要です。 ・図書館利用についてのアンケートを実施するなど利用実態を把握し、駐車場整備を含めた利便性確保に努める必要があります。 ・読書離れが進む中、特に子どもへの配慮ある取り組みをお願いします。																														

<p>平成 26 年度 実施事業等</p>	<p>埋蔵文化財調査事業 ◎各種試掘・確認調査事業について ◎保存目的調査について ◎発掘調査・整理作業について</p> <table border="1" data-bbox="352 398 1414 443"> <tr> <td>事業予算</td> <td>26,150 千円</td> <td>決 算 額</td> <td>26,141 千円</td> </tr> </table>	事業予算	26,150 千円	決 算 額	26,141 千円
事業予算	26,150 千円	決 算 額	26,141 千円		
<p>重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種開発に先立ち試掘・確認調査をし、発掘調査の要否を判断する。 ・平成25年度に市指定となった縄文時代草創期の黒姫洞窟遺跡の継続調査を行い、国指定史跡登録を目指し成果を積み上げる。 ・舟山地区県営畑地帯総合整備事業に伴う谷内遺跡の発掘調査を実施する。 				
<p>取組の状況 と 結果・成果</p>	<p>○各種試掘・確認調査事業 13件の調査を行い、5件から遺構、遺物の検出がありました。小平尾地区の碓沢遺跡において発掘調査が必要と判断しました。他は、開発者と工法変更などを協議した結果、遺跡の保存保護ができるものと判断しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財確認調査 6件(うち検出 4件) ・市道拡幅工事事業 1件(うち検出0件) ・市立井口小学校改築工事事業 1件(うち検出0件) ・市配水池建設工事 1件(うち検出0件) ・民間工事(個人住宅・集合住宅・店舗建設など) 4件(うち検出1件) <p>なお、出土遺物は整理し、次年度以降発掘調査報告書にまとめる予定です。</p> <p>○保存目的調査(黒姫洞窟遺跡第15次調査) 洞窟遺跡の文化層を保存しながら慎重に調査しました。本年度は調査指導委員会を設置し、指導・助言を得ながら行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査期間 9月13日～11月2日の間の9日間 ・調査面積 50㎡ ・遺物:縄文草創期の土器片27点、石器13点 <p>○発掘調査・整理作業(舟山地区 谷内遺跡発掘調査) 県営畑地帯総合整備事業により前年度確認調査した結果、工事により一部破壊される部分を記録するため、発掘調査を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘期間 6月5日～9月27日 ・調査面積 655㎡ ・遺物:縄文土器80箱、石器40箱 <p>なお、良好な状態で出土した縄文土器2個体を復元しました。</p>				
<p>課 題 及び 改善点</p>	<p>埋蔵文化財調査事業は、調査、整理、報告書作成から出土遺物の公開活用までを一連の業務として行う一方、開発者側との協議、国庫補助金申請作業など業務に追われることが多く、職員不足を実感しています。</p> <p>なお、過去の発掘調査で報告書が刊行されていないものがあります。また、他事業(公開活用事業)で再整理をしていますが、膨大な量のため、作業が進んでいない状況です。</p>				
<p>【外部評価】</p>	<p>・現状の人的体制としては、専門的な調査や事務が集中するなかで、業務の遂行に支障をきたす状況のようです。今後は所管業務の担当を見直すなど、部署内での相互扶助と事務改善をお願いします。また、人的増員の検討も必要に感じました。</p>				

平成 26 年度 実施事業等	宮柁二記念館運営事業																													
	事業予算	15,500 千円	決 算 額	14,865 千円																										
重点目標	魚沼が生んだ歌壇を代表する歌人宮柁二(名誉市民)に関する資料を収集、保管及び展示公開してその活用を図り、市民及び郷土の文化の向上に資するとともに、広く短歌の研究とその普及に寄与することを目指します。																													
取組の状況 と 結果・成果	<p>宮柁二記念館では年に一度展示替えを行っており、本年度は魚沼市制施行10周年にあたり、宮柁二がふるさとの地に残した足跡をたどる企画展示を開催し、誘客を図りましたが、入館者は昨年より減少しました。</p> <p>短歌文化の普及・促進のため、第20回となる全国短歌大会、年9回の短歌教室、講演会などを実施しました。全国短歌大会については、1万2千首を超える過去最高の応募作品数となりました。</p> <p>なお、施設については建設後22年が経過し、屋根融雪設備が老朽化したため、改修工事を実施しました。</p> <p>◆年間入館者等状況 670人</p> <p>◆年間事業開催状況</p>																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開 催 日</th> <th>内 容</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月24日</td> <td>「魚沼市における宮柁二の足跡」展オープンセレモニー 記念講演 講師 摩尼久晴氏</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>6月28日～8月31日</td> <td>第19回全国短歌大会ジュニア部門特別賞展</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>7月20日</td> <td>講演会「宮柁二を語る」講師 岡崎康行氏</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>8月5日～8月17日</td> <td>小宮山政男遊戯絵本「よく見ればこの世は浄土」展</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>8月22日</td> <td>ジュニア短歌教室講師 宮柁二記念館短歌教室司会者</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>11月16日</td> <td>第20回宮柁二記念館全国短歌大会</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>11月16日～12月19日</td> <td>第20回短歌大会選者・ジュニア部門特別賞受賞者展</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1月18日</td> <td>短歌セミナー 講師 田宮朋子氏</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table>				開 催 日	内 容	来場者数	5月24日	「魚沼市における宮柁二の足跡」展オープンセレモニー 記念講演 講師 摩尼久晴氏	65人	6月28日～8月31日	第19回全国短歌大会ジュニア部門特別賞展	—	7月20日	講演会「宮柁二を語る」講師 岡崎康行氏	26人	8月5日～8月17日	小宮山政男遊戯絵本「よく見ればこの世は浄土」展	54人	8月22日	ジュニア短歌教室講師 宮柁二記念館短歌教室司会者	10人	11月16日	第20回宮柁二記念館全国短歌大会	300人	11月16日～12月19日	第20回短歌大会選者・ジュニア部門特別賞受賞者展	—	1月18日	短歌セミナー 講師 田宮朋子氏
開 催 日	内 容	来場者数																												
5月24日	「魚沼市における宮柁二の足跡」展オープンセレモニー 記念講演 講師 摩尼久晴氏	65人																												
6月28日～8月31日	第19回全国短歌大会ジュニア部門特別賞展	—																												
7月20日	講演会「宮柁二を語る」講師 岡崎康行氏	26人																												
8月5日～8月17日	小宮山政男遊戯絵本「よく見ればこの世は浄土」展	54人																												
8月22日	ジュニア短歌教室講師 宮柁二記念館短歌教室司会者	10人																												
11月16日	第20回宮柁二記念館全国短歌大会	300人																												
11月16日～12月19日	第20回短歌大会選者・ジュニア部門特別賞受賞者展	—																												
1月18日	短歌セミナー 講師 田宮朋子氏	26人																												
課 題 及び 改善点	<p>今後は、入館者の増加を目指し、新たな誘客の工夫と学校連携による施設の有効活用を図ります。引き続き宮柁二の業績や貴重な資料が保存される記念館の意義を、市内外へと周知させていく働きかけを行います。</p> <p>また、短歌文化の普及のため、全国短歌大会を更に拡大し、魚沼市を全国に向けて発信するとともに、将来を担う子どもたちの育成を目指します。</p>																													
【外部評価】	<p>・魚沼市が誇る文化遺産として、この事業を継続し、施設を維持管理し続けていくことが重要です。また、学校と連携することにより、子どもたちが地元文化人の偉業を学び、敬意を表することへの気持ちが育まれることを期待します。</p>																													

<p>平成 26 年度 実施事業等</p>	<p>青少年教育事業 ◎わくわく体験クラブについて ◎学校・家庭・地域の連携促進事業（放課後子ども教室事業、学校支援地域本部事業）について ◎中学生広島平和記念式典派遣事業について</p>				
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="355 436 590 488">事業予算</td> <td data-bbox="590 436 890 488">5,800 千円</td> <td data-bbox="890 436 1125 488">決算額</td> <td data-bbox="1125 436 1412 488">5,572 千円</td> </tr> </table>	事業予算	5,800 千円	決算額	5,572 千円
事業予算	5,800 千円	決算額	5,572 千円		
<p>重点目標</p>	<p>青少年健全育成事業を通して、社会についての知識を深めさせ、青少年が地域社会の中でたくましく成長することを目指します。</p>				
<p>取組の状況 と 結果・成果</p>	<p>青少年の健全育成、地域の方が子どもたちを支援する体制づくりなどを目指して各種事業を実施しました。</p> <p>○わくわく体験クラブ 青少年の自然体験活動を通じて健全な成長を図るために実施しました。自然体験、ものづくり体験、コミュニケーション体験などの8回(延べ121人参加)の体験活動が開催され、有意義な活動となりました。</p> <p>○学校・家庭・地域の連携促進事業（放課後子ども教室、学校支援地域本部） 放課後の子どもたちの居場所づくりを目的として複数の学校区で放課後子ども教室を実施しており、165回延べ2,805人の参加がありました。</p> <p>また、学校・家庭・地域が連携し、学校を中心とした地域づくりを通じて、地域の教育力の向上と、活性化を図るため、学校支援地域本部を組織して学校を支援する体制づくりを目指しました。地域の方による積極的な学校支援だけでなく、生徒による地域行事の参加や運営支援等も行なわれ、相互効果が生まれています。</p> <p>本年度は地域本部が1地区増え、3地区（堀之内・広神・守門）となりました。今後も地域のコーディネーターを中心に、多くのボランティアの参加を得ながら取り組みます。</p> <p>○中学生広島平和記念式典派遣事業 非核平和都市宣言に基づき、中学生が平和大使として広島平和記念式典に参加し、平和の大切さなどを学んでいます。さらに事業効果を高めるために、11月8日のうおぬま市民大学での発表及び市報うおぬまへの掲載を通じて、市民の方々に平和のメッセージを伝えました。</p>				
<p>課題 及び 改善点</p>	<p>青少年を健全に育成するためには、子どもたちを取り巻く社会環境を十分に配慮しながら各種の事業を実施することが重要です。</p> <p>現在、青少年を取り巻く社会環境が急速に変化し、ネット関連の犯罪被害、放課後の居場所づくり、自然体験の不足、ニート・引きこもり、就労難など様々な課題が発生しています。自然体験の不足を補うためにわくわく体験クラブを、放課後の居場所づくりのために放課後子ども教室を開催していますが、今後も多様な体験活動を取り入れていくことが求められています。また、学校支援地域本部についても、他の学校区への拡大を目指しています。これらの事業を更に推進するためには、ある特定の分野の努力のみでは課題解決が難しいため、広範な立場の大人たちが本事業に関わり、地域で青少年を支える意識の向上を図るとともに、既存組織や地域の特徴を生かした支援体制のネットワーク作りに取り組む必要があります。</p> <p>なお、中学生の平和記念式典への派遣事業を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さについて啓発を図り、非核平和の取り組みを今後も継続していく必要があります。</p>				
<p>【外部評価】</p>	<p>・少子高齢化が進む中で、学校支援地域本部の取り組みは一層活発になっていく可能性を感じており、評価できます。今後もコーディネーターやボランティアの継続的な確保を図りながら、大人と子どもがふれあう機会として公民館事業との連携も期待しています。</p>				

平成 26 年度 実施事業等	市民スポーツ普及事業 ◎市民がスポーツに気軽に参加できる機会提供について																																																																																			
	事業予算	13,770 千円	決算額	13,619 千円																																																																																
重点目標	積極的に生活の中にスポーツを取り入れて、健康づくりや仲間づくりにつながるような、市民が気軽に参加できるスポーツ機会を提供する。																																																																																			
取組の状況 と 結果・成果	(1)市民スポーツフェスティバル (魚沼市体育協会への委託事業) 市民が気軽に参加できるスポーツ大会を魚沼市体育協会に委託し、専門的な運営により 17 種目 39 事業の市民スポーツフェスティバル事業を開催し、多くの市民がスポーツに親しみました。																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>期日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野球大会(本大会・5 地区予選会)</td> <td>H26.10.26 他</td> <td>広神野球場他</td> <td>70 チーム 1,011 人</td> </tr> <tr> <td>バレーボール大会 (混 9 春、秋・ソフトバレー)</td> <td>H26.5.25 他</td> <td>堀之内体育館他</td> <td>35 チーム 301 人</td> </tr> <tr> <td>卓球大会</td> <td>H26.12.7</td> <td>小出郷総合体育館</td> <td>138 人</td> </tr> <tr> <td>ロードレース大会、元旦マラソン</td> <td>H26.10.5 他</td> <td>湯之谷中学校周辺</td> <td>207 人</td> </tr> <tr> <td>バドミントン大会</td> <td>H26.6.15</td> <td>堀之内体育館</td> <td>34 人</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール大会</td> <td>H26.7.27</td> <td>小出郷総合体育館他</td> <td>350 人</td> </tr> <tr> <td>スポーツフェスティバル in 月岡 (テニス)</td> <td>H26.9.22</td> <td>月岡公園テニスコート</td> <td>48 人</td> </tr> <tr> <td>下条テニス教室</td> <td>H26.6.1~10.29</td> <td>広神下条テニスコート</td> <td>31 人</td> </tr> <tr> <td>ゲートボール大会 (本大会・6地区予選会)</td> <td>H26.10.3 他</td> <td>広神野球場他</td> <td>77 チーム 439 人</td> </tr> <tr> <td>市民グランドゴルフ大会(春・秋)</td> <td>H26.6.1 他</td> <td>下島さくらGG他</td> <td>83 人</td> </tr> <tr> <td>市民フットサル大会(春・秋)</td> <td>H26.5.18 他</td> <td>堀之内体育館</td> <td>25 チーム 200 人</td> </tr> <tr> <td>ボウリング大会</td> <td>H26.12.14</td> <td>小出ミヤグランドボウル</td> <td>28 人</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール大会</td> <td>H26.6.8</td> <td>薬師野球場</td> <td>6 チーム 80 人</td> </tr> <tr> <td>トレッキング等 (月岡健康 W・かんじき T)</td> <td>H26.5.18</td> <td>月岡遊歩道他</td> <td>63 人</td> </tr> <tr> <td>スカイスports体験会(春・秋)</td> <td>H26.7.6 他</td> <td>鳴倉山フライトエリア他</td> <td>7 人</td> </tr> <tr> <td>バウンドテニス大会(実技講習・大会)</td> <td>H26.7.13 他</td> <td>小出小学校他</td> <td>47 人</td> </tr> <tr> <td>市民ソフトテニス大会(春・秋・イトアP)</td> <td>H26.7.20 他</td> <td>月岡公園テニスコート他</td> <td>206 人</td> </tr> <tr> <td>スキー教室(少年少女・大原)</td> <td>H27.1.11 他</td> <td>小出スキー場他</td> <td>52 人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">総 参 加 者 数</td> <td>3,325 人</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	期日	会場	参加者数	野球大会(本大会・5 地区予選会)	H26.10.26 他	広神野球場他	70 チーム 1,011 人	バレーボール大会 (混 9 春、秋・ソフトバレー)	H26.5.25 他	堀之内体育館他	35 チーム 301 人	卓球大会	H26.12.7	小出郷総合体育館	138 人	ロードレース大会、元旦マラソン	H26.10.5 他	湯之谷中学校周辺	207 人	バドミントン大会	H26.6.15	堀之内体育館	34 人	バスケットボール大会	H26.7.27	小出郷総合体育館他	350 人	スポーツフェスティバル in 月岡 (テニス)	H26.9.22	月岡公園テニスコート	48 人	下条テニス教室	H26.6.1~10.29	広神下条テニスコート	31 人	ゲートボール大会 (本大会・6地区予選会)	H26.10.3 他	広神野球場他	77 チーム 439 人	市民グランドゴルフ大会(春・秋)	H26.6.1 他	下島さくらGG他	83 人	市民フットサル大会(春・秋)	H26.5.18 他	堀之内体育館	25 チーム 200 人	ボウリング大会	H26.12.14	小出ミヤグランドボウル	28 人	ソフトボール大会	H26.6.8	薬師野球場	6 チーム 80 人	トレッキング等 (月岡健康 W・かんじき T)	H26.5.18	月岡遊歩道他	63 人	スカイスports体験会(春・秋)	H26.7.6 他	鳴倉山フライトエリア他	7 人	バウンドテニス大会(実技講習・大会)	H26.7.13 他	小出小学校他	47 人	市民ソフトテニス大会(春・秋・イトアP)	H26.7.20 他	月岡公園テニスコート他	206 人	スキー教室(少年少女・大原)	H27.1.11 他	小出スキー場他	52 人	総 参 加 者 数			3,325 人
	事業名	期日	会場	参加者数																																																																																
	野球大会(本大会・5 地区予選会)	H26.10.26 他	広神野球場他	70 チーム 1,011 人																																																																																
	バレーボール大会 (混 9 春、秋・ソフトバレー)	H26.5.25 他	堀之内体育館他	35 チーム 301 人																																																																																
	卓球大会	H26.12.7	小出郷総合体育館	138 人																																																																																
	ロードレース大会、元旦マラソン	H26.10.5 他	湯之谷中学校周辺	207 人																																																																																
	バドミントン大会	H26.6.15	堀之内体育館	34 人																																																																																
	バスケットボール大会	H26.7.27	小出郷総合体育館他	350 人																																																																																
	スポーツフェスティバル in 月岡 (テニス)	H26.9.22	月岡公園テニスコート	48 人																																																																																
	下条テニス教室	H26.6.1~10.29	広神下条テニスコート	31 人																																																																																
	ゲートボール大会 (本大会・6地区予選会)	H26.10.3 他	広神野球場他	77 チーム 439 人																																																																																
	市民グランドゴルフ大会(春・秋)	H26.6.1 他	下島さくらGG他	83 人																																																																																
	市民フットサル大会(春・秋)	H26.5.18 他	堀之内体育館	25 チーム 200 人																																																																																
	ボウリング大会	H26.12.14	小出ミヤグランドボウル	28 人																																																																																
	ソフトボール大会	H26.6.8	薬師野球場	6 チーム 80 人																																																																																
	トレッキング等 (月岡健康 W・かんじき T)	H26.5.18	月岡遊歩道他	63 人																																																																																
	スカイスports体験会(春・秋)	H26.7.6 他	鳴倉山フライトエリア他	7 人																																																																																
	バウンドテニス大会(実技講習・大会)	H26.7.13 他	小出小学校他	47 人																																																																																
	市民ソフトテニス大会(春・秋・イトアP)	H26.7.20 他	月岡公園テニスコート他	206 人																																																																																
スキー教室(少年少女・大原)	H27.1.11 他	小出スキー場他	52 人																																																																																	
総 参 加 者 数			3,325 人																																																																																	
(2)各種運動教室等の開催 (総合型地域スポーツクラブへの委託事業) 事業の委託については、長期的な視点でスポーツ振興に関して専門知識を持つ人材をかかえ技術的な蓄積がある総合型地域スポーツクラブに各種運動教室を委託することで、多様な市民ニーズにあった事業展開ができました。それにより、未就学児から中高年まで各年齢にあった運動プログラムの提供や、ウォーキング、体力測定会などのイベント型の企画を委託し、市民スポーツ普及を進めています。また、会場への参加が困難な市民のために出前教室も開催し、利便の向上を図りました。																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボクササイズ教室</td> <td>43 回</td> <td>485 人</td> <td>健康運動教室</td> <td>72 回</td> <td>1,042 人</td> </tr> <tr> <td>ヒップホップダンス教室</td> <td>46 回</td> <td>598 人</td> <td>健康運動教室(出前)</td> <td>16 回</td> <td>196 人</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	回数	参加者数	事業名	回数	参加者数	ボクササイズ教室	43 回	485 人	健康運動教室	72 回	1,042 人	ヒップホップダンス教室	46 回	598 人	健康運動教室(出前)	16 回	196 人																																																															
事業名	回数	参加者数	事業名	回数	参加者数																																																																															
ボクササイズ教室	43 回	485 人	健康運動教室	72 回	1,042 人																																																																															
ヒップホップダンス教室	46 回	598 人	健康運動教室(出前)	16 回	196 人																																																																															

	小出エアロビクス教室	47回	843人	桜づつみウォーキング	1回	125人
	広神エアロビクス教室	46回	297人	体力測定会	1回	80人
	ピラティス教室	46回	595人	放課後びよんびよん教室	25回	454人
	フリースポーツデー	47回	1,387人	未就学児運動教室	22回	490人
	フットサル教室	91回	564人	指導者派遣	22回	286人
	総参加者数					7,442人
	<p>(3)ジュニアへの普及等</p> <p>夏期においては、水泳技術及び基礎体力の向上を目指し寿和温泉水泳教室を、冬期は小学校クロスカントリースキー大会を開催しました。クロスカントリースキー大会は市内の全小学校が出席し開催することができました。</p> <p>冬季スポーツについては、健全育成に資する観点から児童・生徒(高校生含む)の冬季スポーツへの関心を呼び起こし、アルペンスキー等の振興と体力向上を目指すことを目的に、市内スキー場のシーズン券を購入する市内在住の児童・生徒へ補助金を交付しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寿和温泉水泳教室 参加者数:51人(延べ人数:365人) ・ 小学生クロスカントリースキー大会 参加者数:405人 ・ スキーリフトシーズン券購入補助 交付人数:787人 (小学生:603人 中学生:184人) 					
課題及び改善点	<p>スポーツフェスティバルの各大会は、市民のスポーツ活動の場を提供してきましたが、今後は、参加者が定期的な運動習慣を身につけ、定期スポーツ活動人数の増加につながるようにするため、魅力あるプログラムの提供とともに、活動組織への支援が重要です。</p> <p>また、より多くの市民からスポーツに親しんでいただくため、運動習慣の少ない市民が関心を抱く企画の検討をしていく必要があります。健康な生活を送るためにも、健康・福祉分野と連携しながら事業を開拓していくことが必要です。</p>					
【外部評価】	<p>・より多くの市民が参加できるように、市民スポーツフェスティバルの種目や開催期日の見直しをお願いします。</p> <p>・地域の特色ある冬季スポーツ「スキー」の普及と振興に努めている点を大いに評価します。</p>					

平成 26 年度 実施事業等	競技スポーツ支援事業 ◎ジュニアスポーツ支援と指導者育成について																																		
	事業予算	3,970 千円	決算額	3,113 千円																															
重点目標	各種大会参加経費軽減の支援と競技力向上、指導者の充実を目指します。																																		
取組の状況 と 結果・成果	<p>(1)スポーツ講演会 エンジョイスportsクラブ魚沼と共催し、スポーツの楽しさとスポーツの持つ力を障害者と健常者の立場から検証し、広く市民にスポーツの楽しさを知っていただくためスポーツ講演会を開催しました。 ・参加者数:40人</p> <p>(2)ジュニアスポーツ支援 ジュニアスポーツ支援として実施している市有バス等運転業務事業は、各種大会参加への旅費軽減の支援として、激励金制度は、全国大会以上の大会出場者を支援するものとして高い評価を得ています。 また、年間を通して、スポーツ少年団活動における体育施設使用料金の免除など活動を支援するとともに、中学校軟式野球大会の開催にも協力してきました。 ・市有バス等運転業務委託 利用回数:65回 ・ジュニア競技スポーツ支援事業(激励金交付) 交付件数:94件 ・高位大会(全国大会)出場懸垂幕設置 設置件数:1件</p> <p>(3)各種スポーツ大会等開催 (魚沼市体育協会への委託事業) 各種スポーツ大会等事業については、市体育協会に委託し、専門的な見地で事業を実施してもらうことによりスポーツの普及、地域活性化、競技力の向上を図りました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>期日</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市陸上記録会</td> <td>H26.6.15</td> <td>十日町市陸上競技場</td> <td>541人</td> </tr> <tr> <td>魚沼市少年柔道大会</td> <td>H26.6.22</td> <td>入広瀬中学校</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>市民登山</td> <td>H26.9.6~7</td> <td>木曾駒ヶ岳</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>小学生バレーボール大会</td> <td>H26.9.6</td> <td>井口小学校</td> <td>11チーム 135人</td> </tr> <tr> <td>コスモス(スキー)ジャンプ大会</td> <td>H26.10.5</td> <td>小出公園ジャンツェ</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>広神剣道大会</td> <td>H26.10.11</td> <td>広神東小学校</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総参加者数</td> <td>824人</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	期日	会場	参加者	市陸上記録会	H26.6.15	十日町市陸上競技場	541人	魚沼市少年柔道大会	H26.6.22	入広瀬中学校	62人	市民登山	H26.9.6~7	木曾駒ヶ岳	23人	小学生バレーボール大会	H26.9.6	井口小学校	11チーム 135人	コスモス(スキー)ジャンプ大会	H26.10.5	小出公園ジャンツェ	33人	広神剣道大会	H26.10.11	広神東小学校	30人	総参加者数			824人
	事業名	期日	会場	参加者																															
市陸上記録会	H26.6.15	十日町市陸上競技場	541人																																
魚沼市少年柔道大会	H26.6.22	入広瀬中学校	62人																																
市民登山	H26.9.6~7	木曾駒ヶ岳	23人																																
小学生バレーボール大会	H26.9.6	井口小学校	11チーム 135人																																
コスモス(スキー)ジャンプ大会	H26.10.5	小出公園ジャンツェ	33人																																
広神剣道大会	H26.10.11	広神東小学校	30人																																
総参加者数			824人																																
課題 及び 改善点	<p>競技力の向上を支援する体制の強化にあたり、市体育協会と小体連・中体連との連携強化や、総合型地域スポーツクラブとのさらなる連携を図る必要があります。 ジュニアスポーツを支える地域指導者やスポーツ少年団、学校と連携を図り、よりよいスポーツ推進体制を構築する必要があります。また、それぞれの競技の指導者育成を支援していくことが必要です。 競技団体への補助、事業委託については、一定の基準を整備し、成果に結び付くような支援体制の整備が必要です。 障害者スポーツの啓発普及のため、福祉関係者やスポーツ団体と連携を図り、スポーツに親しむ機会の拡大に努めるとともに、サポート体制の充実が必要です。</p>																																		
【外部評価】	<p>・講演会及び大会の開催並びに各種支援事業は、意義ある取り組みとして高く評価されます。今後は次世代の指導者育成が課題となりますが、関係団体と連携をしながら支援の継続をお願いします。</p>																																		


平成 26 年度 実施事業等	公立保育園等整備事業		
	事業予算	43,500 千円 (内 H25 繰越明許 23,600 千円)	決算額 23,180 千円 (繰越 18,100 千円)
重点目標	<p>ひかり保育園の統合に向け、受け入れ先のつくし保育園の環境整備の必要があるため、結論を急がず保護者や地域住民に対し丁寧な説明を行う。</p> <p>すもんこども園の建設については、地元関係者で組織された建設検討委員会の意見が設計に取り入れられるよう努めるとともに、早期発注に努める。</p>		
取組の状況 と 結果・成果	<p>ひかり保育園については、地元及び保護者との協議を進め「つくし保育園ひかり分園」として3年後(平成 30 年 4 月)に統合することで方針が決定した。</p> <p>すもんこども園については、建設検討委員会の意見を取り入れた実施設計が完了し、補正予算により建設工事、監理業務委託の発注が完了しました。平成 28 年 6 月末日を工期として工事が始まったことは大きな成果といえる。</p>		
課題 及び 改善点	<p>ひかり保育園は平成 27 年度からつくし保育園ひかり分園としての運営がスタートする。本園と分園との一体感と醸成を図り、保護者が不安を感じないように、園運営をサポートする必要がある。統合後の園舎の処分方法について議論を進める必要がある。</p> <p>既存の守門保育園及び守門幼稚園の廃止については、手続きだけでなく閉園式等についても関係者と十分協議して進める必要がある。認定こども園の開設、既存園舎の解体等について関係機関と協議のうえ、着実に進める必要がある。また、周辺土地の利活用について、地元と連絡を密にして最終方針を決定したい。</p>		
【外部評価】	<p>・事業については、概ね順調であると評価します。今後も関係者との協議や調整に努め、遺漏なきよう取り組みの継続をお願いします。</p>		

平成 26 年度 実施事業等	放課後児童健全育成事業 ◎堀之内放課後児童クラブの建設			
	事業予算	192,500 千円	決 算 額	100,392 千円 (繰越 91,900 千円)
重点目標	<p>利用児童の環境改善のため、堀之内の学童保育を、老朽化した堀之内子育て支援センターから堀之内小学校敷地内の新施設に移転する。</p> <p>同時期に堀之内小学校の給食調理場も老朽化により改築が予定されていることから、給食調理場の2階部分を学童スペースとして建築を行う。学校敷地内に建設することにより児童の移動における安全性・利便性を向上させ、併設することで経費節減を図る。</p>			
取組の状況 と 結果・成果	<p>工事の設計変更などにより、工期の延長を行い、施設建設が年度内に完了しなかった。</p> <p>施設建設後に外構工事や消雪パイプ敷設工事が予定されており、堀之内放課後児童クラブの移転時期については、予定どおり平成 27 年 7 月の見込みとなる。</p>			
課 題 及び 改善点	<p>放課後児童クラブの利用者数は年々増加する傾向となっている。引き続き、放課後児童クラブの老朽化施設への対応や利用者増加地区における新施設の開設を進め、放課後の小学生の快適で安全な生活の場を確保する。</p>			
【外部評価】	<p>・小学校敷地内に施設が確保され、児童の利便性や安全性の確保がなされるとともに、子どもを預ける保護者の安心感が保障できる点からも大いに評価できます。</p> <p>・待機児童ゼロを継続し、万が一の事件事故等にも素早く対応できるような体制づくりを進めるようお願いします。</p>			

平成 26 年度 実施事業等	子育て支援事業 ◎子育て世帯臨時特例給付金給付事業について			
	事業予算	47,868 千円	決算額	47,762 千円
重点目標	「臨時福祉給付金」との併給調整を図りながら、支給対象者の給付金申請率 100%を目指す。			
取組の状況 と 結果・成果	消費税率の引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置として実施する子育て世帯臨時特例給付金を支給しました。			
	平成 26 年1月分の児童手当・特例給付を受給し、かつ、平成 25 年中の所得が児童手当の所得制限限度額未満の方へ、対象児童 1 人につき 10,000 円を支給しました。			
	平成 26 年度実績			
	受給者区分	受給者数	対象児童数	支払金額
	一般	2,169 人	3,785 人	37,850 千円
	公務員	285 人	503 人	5,030 千円
	計	2,454 人	4,288 人	42,880 千円
	事務費相当額(参考)			4,882 千円
	合 計			47,762 千円
課 題 及び 改善点	支給対象者のうち、申請が無かった対象者が1人いた。この対象者は、文書と電話による申請勧奨を複数回行ったが申請が無かった。 申請の意思があるにもかかわらず申請期限を過ぎて給付金が受け取れなくなる者がいないように、未申請者に対しては、申請期限までに様々な方法で申請を勧奨していく必要がある。			
【外部評価】	・事業の取り組みと結果や成果について、十分であると評価します。			

平成 26 年度 実施事業等	医療費助成事業 ◎子ども医療費助成について																				
	事業予算	83,000 千円	決算額	70,546 千円																	
重点目標	子どもの医療費の一部をその保護者に助成することにより、経済的負担の軽減を図り、もって安心して子どもを産み育てる環境整備に寄与することを目的とする。																				
取組の状況 と 結果・成果	医療機関を受診したときの受給者負担金は、入院 1 日あたり 1,200 円、通院 1 回あたり 530 円(ただし、同一医療機関で同一診療科を月 5 回以上受診した場合は 5 回目以降無料)。																				
	<p style="text-align: center;">平成 26 年度実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>延べ助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県単分</td> <td>23,096 件</td> <td>45,297 千円</td> </tr> <tr> <td>市単分</td> <td>19,810 件</td> <td>21,868 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">42,906 件</td> <td style="text-align: center;">67,165 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">事務費相当額(参考)</td> <td style="text-align: center;">3,381 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">70,546 千円</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	延べ助成件数	助成金額	県単分	23,096 件	45,297 千円	市単分	19,810 件	21,868 千円	計	42,906 件	67,165 千円	事務費相当額(参考)		3,381 千円	合 計	
区 分	延べ助成件数	助成金額																			
県単分	23,096 件	45,297 千円																			
市単分	19,810 件	21,868 千円																			
計	42,906 件	67,165 千円																			
事務費相当額(参考)		3,381 千円																			
合 計		70,546 千円																			
課 題 及び 改善点	<p>出生届・転入届受付時にパンフレット等により制度の周知を図り、申請漏れを防ぐとともに、今後も対象年齢等の資格要件など適正な助成が行われるように努める必要があります。</p> <p>なお、平成 27 年 4 月より入院一部負担金を無料としています。</p>																				
【外部評価】	<p>・少子化対策として、子育て環境の整備を図るうえで大切な取り組みです。今後もより簡便な申請と給付手続きなど、利用者側に配慮した取り組みとなるようにお願いします。</p>																				

平成 26 年度 実施事業等	医療費助成事業 ◎ひとり親家庭等医療費助成について			
	事業予算	18,000 千円	決算額	15,967 千円
重点目標	18 歳以下(一定の障害がある場合は 20 歳まで)の児童を養育している母子・父子・養育者家庭の子と親(養育者)を対象として、入院・通院の医療費助成を行うことで、対象家庭の保健の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。			
取組の状況 と 結果・成果	平成 26 年度は新規認定 119 人、資格喪失 120 人(うち、年齢到達によるもの 70 人)となりました。			
	医療機関を受診したときの受給者負担金は、入院 1 日あたり 1,200 円、通院 1 回あたり 530 円(ただし、同一医療機関で同一診療科を月 5 回以上受診した場合は 5 回目以降無料)。			
	平成 26 年度実績			
	区 分	対象者数	延べ助成件数	助成金額
	母子家庭	751 人	7,502 件	15,204 千円
	父子家庭	98 人		
	養育者家庭	8 人		
	計	867 人	7,502 件	15,204 千円
	事務費相当額(参考)			763 千円
	合 計			15,967 千円
課 題 及び 改 善 点	<p>交付申請時、各種届出時及び更新申請時に直接受給者と面談する機会を利用し、事実関係の把握を行い、適正な受給を確保するように努める必要があります。</p> <p>個人の秘密に属する事項に大きく関わるため、聞き取り等の調査にあたってはプライバシーに十分配慮することが求められます。</p> <p>なお、平成 27 年 4 月より中学生までの入院一部負担金を無料としています。</p>			
【外部評価】	・母子及び父子家庭の生活支援として、当該事業を高く評価します。今後も関係部署と連携し、申請漏れ等がないよう適正な受給に努めていただくようお願いします。			



教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び
評価の結果に関する報告書(平成26年度分)

発行 平成27年11月

編集 魚沼市教育委員会

〒949-7494 新潟県魚沼市堀之内 130 番地

TEL 025-794-6072 FAX 025-794-2353

URL <http://www.city.uonuma.niigata.jp/>